

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 金澤 康汰

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2025年3月分】

1. 実施した活動の概要・状況

今月は、次年度以降の活動に向けた研修旅行を企画し、地域おこし協力隊の活用が進んでいる兵庫県豊岡市を視察した。現地では、地域資源を活かした取り組みや官民連携の進め方について学び、今後の活動に活かせる多くの学びを得ることができた。また、月末には東通村の地域おこし協力隊と合同で活動報告会を実施し、お互いの取り組みや課題を共有する貴重な機会となった。新たな視点を得るとともに、地域間の連携の可能性についても考えるきっかけとなった。

4月からは協力隊2年目となるため、これまでの経験を活かしながら、より地域に根差した活動を推進し、持続可能な地域づくりに貢献していきたい。

（主な活動）

◇3月18日（火）～20日（木） 兵庫県豊岡市 地域おこし協力隊研修旅行

豊岡市の地域活性化の取り組みを学ぶことで、移住促進や地域おこしの具体的な施策について理解を深めることができた。特に、移住者への「コウノトリ米」の提供や、農家との直接交流を促す仕組みは、地域に溶け込みやすい環境づくりの工夫が感じられた。また、兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学では、学生が地域振興に積極的に関わる様子を学び、大学と地域が連携して実習やイベントを実施する仕組みが参考になった。さらに、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館の視察では、シュノーケリング体験の運営について具体的なアドバイスを得ることができ、イベントの周知方法や年間スケジュールの確定など、むつ市での体験プログラムに活かせるヒントが多く得られた。

今回の研修を通じて、移住支援や地域振興の工夫、観光資源を活かしたイベント運営の方法を学び、今後の活動に活かしていきたい。



玄武洞



芸術文化観光専門職大学

◇3月25日（火） むつ市・東通村地域おこし協力隊活動報告会

本報告会は下北文化会館で開催され、むつ市と東通村の地域おこし協力隊 7 名が、これまでの活動について発表した。当日は約 60 名の方々にご来場いただき、地域の方々や関係者と活動の成果や課題を共有する貴重な機会となった。私は U ターンでむつ市に戻り、地域おこし協力隊として活動を始めて 1 年が経った。今回の報告会では、この 1 年間の活動を振り返りながら、地域の課題に向き合い、試行錯誤を重ねた経験を発表した。しかし、もともと人前で話すことが苦手なこともあり、緊張してしまい、思うように伝えられなかった部分もあった。それでも、こうした経験を重ねることが、成長につながると前向きに受け止めている。この 1 年を通じて、地域の課題解決には決まった正解があるわけではなく、「どうすれば実現できるか？」を常に考えながら行動することが重要だと実感した。

今回の報告会を通じて、自分自身の課題を再認識するとともに、2 年目に向け、これまでの経験を活かしながら、より地域に根差した活動を進めていきたい。



2. 翌月（4月）の活動予定

12日(土) Reborn かわうち実行委員会「FLAT-ふらっと-」

13日(日) 防災士会学習会

22日(火) 地域おこし協力隊 合宿交流型ミーティング